

CASBEE Sapporo2014v1.2
(仮称)札幌北1条西9丁目計画

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

Table with columns: スコアシート, 基本設計段階, 重点評価項目 (A:省エネルギー, B:省資源, C:緑化, D:雪処理), 環境配慮設計の概要記入欄, 建物全体・共用部分 (評価点, 重み係数), 住居・宿泊部分 (評価点, 重み係数), 全体. Rows include Q1 室内環境 (音環境, 温熱環境, 光・視環境, 空気質環境) and Q2 サービス性能 (機能性, 耐用性・信頼性, 対応性・更新性).

CASBEE_Sapporo2014v1.2
(仮称)札幌北1条西9丁目計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出			C			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		隣地既存校舎と外壁、塗装色を合わせ、バランスよく調和させた。	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮				D		4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D	前面空地を設け、都市空間の活動上のアメニティ向上に貢献。	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制	A					3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用	A				自然換気を採用した。	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 0.83 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A				設備システムの高効率化。	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)	A					-	-	-	-	
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価						-	-	-	-	
4.1 モニタリング	A					-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	A					-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					節水コマ、節水型便器を採用。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						3.9	0.60	-	-	3.9
2.1 材料使用量の削減		B			一部PCの利用。	4.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B			既存建物の地下躯体を利用した配置計画とした。	5.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B				3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			躯体と仕上材を分別可能とし、内装と設備を錯綜させないようにした。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						2.9	0.20	-	-	2.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用					主要材について有害物質を含まない材料とした。	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						2.5	0.70	-	-	
1 消火剤		B				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		B				2.0	0.50	-	-	
3 冷媒		B				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		B			設備システムの高効率化。	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮						3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		B				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制					一般車両と荷捌車の利用を分離した。(隔地駐車利用)	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮						3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
1 騒音						3.0	0.33	-	-	
2 振動						3.0	0.33	-	-	
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制						-	-	-	-	
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						3.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	